

# 生体音解析による病気診断支援システムの開発

[キーワード: 信号処理, 生体計測, パターン認識] 講師 榎本崇宏

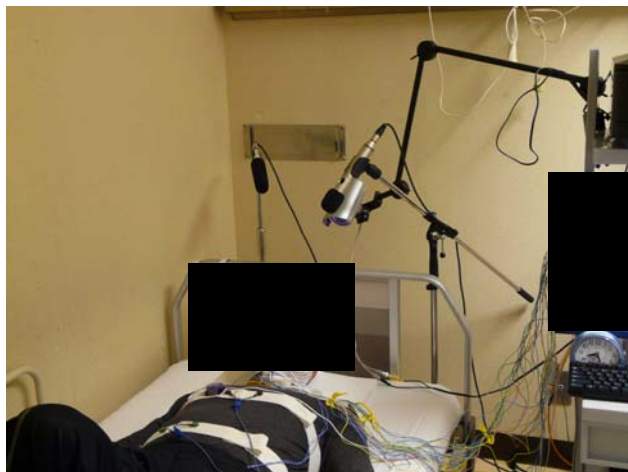


図1 いびき音測定準備の様子



図2 腸音測定準備の様子

内容:

慢性疾患(睡眠時無呼吸症候群(OSAS), 過敏性腸症候群(IBS))に悩む患者が増加傾向にある。これらの疾患の診断には, 身体的負担のある検査(睡眠ポリグラフ検査, 内視鏡検査など)が必要となる。そのような疾患を煩う患者からの生体音(いびき, 腸音)には疾患に関連する情報が含まれていると考えられる。生体音はマイクロフォン、電子聴診器などを用いて手軽に測定することができる。そこで、我々は、生体音解析をもとに、慢性疾患に対する新しい診断支援技術の開発を目指し研究を進めている。生体音解析には一般的に長時間にわたって録音した音を使用するため、信号処理の技術等を応用して、慢性疾患(OSAS, IBS)の定量的自動診断システムの開発を行っている。我々の研究の進展により、従来の検査法と比べ患者の負担が小さく、非侵襲・非接触の新たな慢性疾患診断法が期待される。

分野:<医用システム>

専門:<生体医工学>

E-mail: emoto@ee.tokushima-u.ac.jp

Tel. 088-656-7476

Fax:

顔写真  
(省略可)